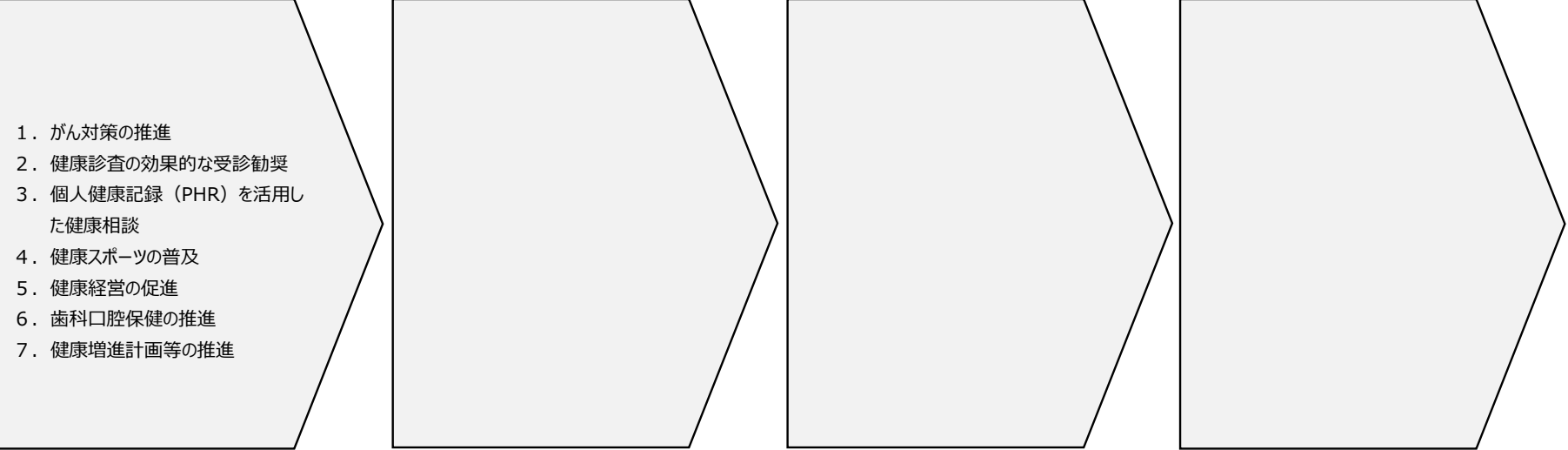


施策名称		からだの健康の増進	
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標等	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている	
概要		健康増進に関する情報提供や相談体制の充実、疾病の予防や早期発見を進める。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	1. がん対策の推進 2. 健康診査の効果的な受診勧奨 3. 個人健康記録（PHR）を活用した健康相談 4. 健康スポーツの普及 5. 健康経営の促進 6. 歯科口腔保健の推進 7. 健康増進計画等の推進	R7年度	R8年度
		R9年度	

施策シート【06_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進
------	-----------

1. がん対策の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
がんに関する正しい知識の普及啓発及びがん検診等を実施。併せて、ウイッグ等の補整具の購入費用を一部助成するなど、がんの「予防」から「早期発見」及び「患者支援」まで、大学や企業等とも連携し、総合的ながん対策を推進。	①ウイッグ等の補整具の購入費用を一部助成 ②がん検診受診率向上に向けて医療機関や関係機関と連携した受診勧奨の取組及び国の指針に基づくがん検診の実施に向けて検討 ③大学や企業等との連携によりがんに関する正しい知識の普及等がん対策を含む健康医療福祉に対する啓発活動・情報発信の協力	①ウイッグ等の補整具の購入費用を一部助成 ②がん検診受診率向上に向けて医療機関や関係機関と連携した受診勧奨の取組及び国の指針に基づくがん検診の実施 ③大学や企業等との連携によりがんに関する正しい知識の普及等がん対策を含む健康医療福祉に対する啓発活動・情報発信の協力	継続	継続	健康づくり課

2. 健康診査の効果的な受診勧奨

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市国民健康保険被保険者のレセプトや特定健康診査等のデータ分析を行うとともに、特定健康診査未受診者に対して、大阪大学が作製したAIツールを活用した受診勧奨を実施。	6月以降に行った前年度データの分析結果から効率的・効果的な受診勧奨の手法を秋頃に検証して活用	継続	継続	継続	健康づくり課

3. 個人健康記録（PHR）を活用した健康相談

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民自らが、スマホ等で時系列的に健康状態を把握し、適切な健康行動を実践できるよう、国が進める健康・医療・介護の分野等の情報を集約し活用すること」を踏まえ、その集約されたPHR情報の活用を周知するとともに、健康相談対応を実施。	①PHRの活用等の周知 ②PHRの環境整備状況の進捗を踏まえつつ、PHR等を活用した健康相談を実施	継続	継続	継続	健康づくり課

施策シート【06_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進
------	-----------

4. 健康スポーツの普及

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民のスポーツ振興を図り、健康増進や高齢者の介護予防の取り組みとして、地域展開における楽10体操やボディバランスチェック体験、朝活ストレッチなどの事業を実施。枚方市内の企業への健康経営の取り組みとしてオーダーメイドプログラム（健康パッケージ）を提供。	・高齢者向けのプログラムや、企業向けの健康経営プログラムなどの提供 ・健康スポーツ教室や健康経営セミナー等を実施（補助金交付）	継続	継続	継続	スポーツ振興課

5. 健康経営の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
働く世代の健康増進を図るため、地域・職域連携推進の取り組み等により、健康経営（従業員の健康づくりの取組）を行う企業の増加を図るとともに、北大阪商工会議所等との連携のもと、健康経営を行う企業を支援。	①地域・職域連携推進連絡会の開催及び健康経営普及セミナー、企業交流会等の開催の継続実施 ②健康経営を行う企業の更なる推進及び相互支援のしくみづくりについて検討	①継続 ②健康経営を行う企業の更なる推進及び相互支援	継続	継続	健康づくり課

6. 歯科口腔保健の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
成人期における歯周組織の健康の保持・増進、う蝕および喪失歯予防のため、20歳～70歳（5歳刻みの節目年齢）を対象に歯周病検診を実施。	・受診勧奨ハガキの送付や広報・SNSなどで広く周知 ・各種イベントなどでむし歯・歯周病予防について啓発 ・かかりつけ歯科医の重要性についての啓発	継続	継続	継続	健康づくり課

施策シート【06_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称	からだの健康の増進
------	-----------

7. 健康増進計画等の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
健康寿命の延伸に向けて、令和6年度を始期とする高齢者福祉・健康増進施策に係る計画に基づき、高齢者保健福祉と健康づくりに効果的に取り組むとともに、胎児期から高齢期に至るまで、生涯を経時的に捉えた健康づくり（ライフコースアプローチ）を進める。	・各種イベントでの測定会やSNS発信などを実施し、健康づくりの取り組みについて啓発 ・生涯を通じた健康づくりに取り組むための情報提供方法を検討	継続	継続	継続	健康づくり課

施策シート[06_01]ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称		からだの健康の増進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	ウォーキングなど健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	25,000	25,000	25,000	25,000	人	健康づくり課	-
特定健康診査受診率	高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受診者／対象者（国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者）	35.0	38.0	41.0	44.0	%	健康づくり課	-
大腸がん検診受診率	市が実施する大腸がん検診の受診者／対象者（40歳以上70歳未満の者）	7.7	8.8	9.9	11.0	%	健康づくり課	1. がん対策の推進
特定健康診査の受診勧奨割合	特定健康診査の受診を勧奨した人数/対象者（未受診者）	100	100	100	100	%	健康づくり課	2. 健康診査の効果的な受診勧奨
PHRの活用についての認知度	アンケートを実施し、質問「PHRの活用について知っている」と回答した人の割合	5	10	15	20	%	健康づくり課	3. 個人健康記録（PHR）を活用した健康相談
PHRを活用した健康相談件数	個人健康記録（PHR）を活用した健康相談件数	2	3	4	5	件	健康づくり課	3. 個人健康記録（PHR）を活用した健康相談
健康パッケージ提供数	スポーツ協会が市内企業へ提供したオーダーメイドプログラム（健康パッケージ）の提供数	47	49	51	53	件	スポーツ振興課	4. 健康スポーツの普及
健康スポーツイベント等の参加者数	補助事業で実施された各事業の参加者数	9,200	9,300	9,400	9,500	人	スポーツ振興課	4. 健康スポーツの普及
週1日以上スポーツに取り組む成人の割合 週3日以上スポーツに取り組む成人の割合	アンケートにおける普段のスポーツの実施状況において ①「週に1～2日以上」と回答した割合 ②「週に3日以上」と回答した割合	-	-	-	①50 ②25	%	スポーツ振興課	枚方市スポーツ推進計画
従業員の健康づくりに取り組む企業数（累計）	①企業への支援数 ②協会けんぽへの「健康宣言」を提出する市内企業数（累計）	①3,600 ②165	①3,700 ②195	①3,900 ②225	①4,000 ②255	①回 ②企業	健康づくり課	5. 健康経営の促進
歯周病検診の要治療者の受診率	健診結果で要治療者（治療が必要な人）が、重症化予防のために治療を受けた人の割合。 【算出式：要治療者のうち受診した人数／要治療者数】	92	92	92	92	%	健康づくり課	6. 歯科口腔保健の推進

施策シート[06_01]ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部

施策名称		からだの健康の増進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている人の割合	アンケートにおける、「朝食、昼食、夕食ごとに主食、主菜、副菜がそろっているか」について回答を得、「1 日のうち2 食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている」と回答した人の割合	58.7	59.8	60.8	61.8	%	健康づくり課	7. 健康増進計画等の推進
適正体重を維持している人	アンケートにおいてBMIを算出し、64歳以下はBMI18.5以上25未満、65歳以上はBMI20.1以上25未満の人の割合を合算して算出	64.1	64.3	64.4	64.6	%	健康づくり課	7. 健康増進計画等の推進
かかりつけ歯科医を有する人の割合	アンケートにおける、「かかりつけ歯科医がある」と回答した人の割合	77.1	77.8	78.4	79.0	%	健康づくり課	第2次枚方市歯科口腔保健計画
コンソーシアム連携事業への参加者数	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数（会議を除く研修会・講習会への参加者数）	12,000	12,000	12,000	12,000	人	健康福祉政策課	-

施策名称		こころの健康の維持・増進	
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標等	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている	
概要		こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みを進める。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	1. こころの健康相談		
	2. 薬物乱用防止に向けた支援		
	3. 孤独・孤立対策		
	○福祉サービス検索システムの運用 開始、チャット相談サービスの構築 及び運用開始		
	R7年度		
	R8年度		
	R9年度		

施策シート【06_02】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	こころの健康の維持・増進
------	--------------

1. こころの健康相談

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
うつ病などこころの病気について医療に係る相談を実施	電話および面接、訪問による相談支援	継続	継続	継続	保健医療課

2. 薬物乱用防止に向けた支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配布	市関連施設などにおいて、啓発資材を配布	継続	継続	継続	保健医療課

3. 孤独・孤立対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
日常生活もしくは社会生活において孤独を覚えることにより、心身に有害な影響を受けている状態にある者が必要とする支援を実施。	・福祉サービス検索システムの運用開始 ・チャット相談サービスの構築及び運用開始	福祉サービス検索システム及びチャット相談サービス運用	継続	継続	健康福祉総合相談課

施策シート[06_02]ー 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称		こころの健康の維持・増進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
こころの健康相談の相談件数	うつ病などこころの病気について医療に係る相談を実施するこころの健康相談件数	5,000	4,900	4,800	4,700	件	保健医療課	1. こころの健康相談
薬物乱用防止に向けた支援件数（累計）	薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資料の配布数（累計）	16,000	18,500	21,000	23,500	件	保健医療課	2. 薬物乱用防止に向けた支援
自殺死亡率	人口10万人あたりの自殺者数	11	11	11	11	人／人口10万	保健医療課	枚方市いのちを支える行動計画（自殺対策計画）
福祉サービス検索システムを利用した人のうち、支援やサービスにつながった割合、及び問題解決に向かった割合	どこに相談したらよいのわからないなど、孤独・孤立の問題を抱える当事者や家族が、福祉サービス検索システムを利用した割合（システム等を利用した人の内、検索結果を確認したり相談できた人の割合）	50	50	50	50	%	健康福祉総合相談課	3. 孤独・孤立対策

施策名称		難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり		
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち		
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている		
概要		難病に対する理解を深めるとともに、医療や介護、福祉の連携を図りながら、難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			

1. 難病対策事業の推進

施策シート【06_03】－ 具体的な取り組み

保健所

施策名称	難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり
------	-----------------------

1. 難病対策事業の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①保健師による申請時面接や訪問、リハビリ専門職等による専門相談の実施 ②難病患者に対する講演会や相談会を実施 ③難病患者やその家族に対する、相談、指導、助言等を行う支援スタッフの育成 ④人工呼吸器を使用する在宅難病患者等へのレスパイト入院費用の助成 ⑤医療機関等とのネットワークを構築	①保健師の面接・訪問、専門相談の実施 ②難病患者に対する講演会や相談会の実施 ③関係機関向け研修会の実施 ④レスパイト入院費用の助成 ⑤難病ネットワーク部会実務者会議の開催	継続	継続	継続	保健予防課

施策シート[06_03]－ 施策指標

保健所

施策名称		難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくり						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
「療養生活について相談できる人がいる、または困っていないことがない」と回答した割合	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる人がいる、または困っていないことがない」と回答した割合	95以上	95以上	95以上	95以上	%	保健予防課	1. 難病対策事業の推進
指定難病医療費助成制度更新申請者の療養状況把握割合	療養状況を把握できた者の数／指定難病医療費助成制度更新申請者数	100	100	100	100	%	保健予防課	1. 難病対策事業の推進

施策名称		健康に関する危機管理体制の充実		
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち		
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている		
概要		感染症の予防や拡大防止対策の強化、健康に関する危機管理体制の充実を図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			
	1. 感染症への対策			
	2. 感染症予防計画及び健康危機 対処計画の策定			
	3. 市立ひらかた病院及び三師会と 連携した訓練・研修			
	R7年度			
	R8年度			
	R9年度			

施策シート【07_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実
------	-----------------

1. 感染症への対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
指定感染症（全数把握、定点把握）の発生情報の正確な把握と分析、その結果の迅速な提供・公開及び感染症についての正しい情報と知識を普及、適切な予防行動の確立	・結核のハイリスク層である高齢者へ向けた啓発を、関係機関との連携を図りながら実施。 ・事業連携協定に基づく塩野義製薬と連携協力した感染症対策。 ・ネットワーク会議等の機会を通じた医療機関との連携強化	継続	継続	継続	保健予防課

2. 感染症予防計画及び健康危機対処計画の策定

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、感染症予防計画及び健康危機対処計画を令和5年度末に策定。令和6年度以降、当該計画に基づき、新興・再興感染症の対応をはじめ、災害が複合的に発生した場合にも対応できる管理体制を構築	・保健所の感染症有事体制に構成される人員等を対象に実践的訓練を実施 ・会議や研修・訓練等の機会を通じ、関係機関との情報共有や連携体制を強化	継続	継続	継続	健康福祉政策課、保健医療課、保健予防課

3. 市立ひらかた病院及び三師会と連携した訓練・研修

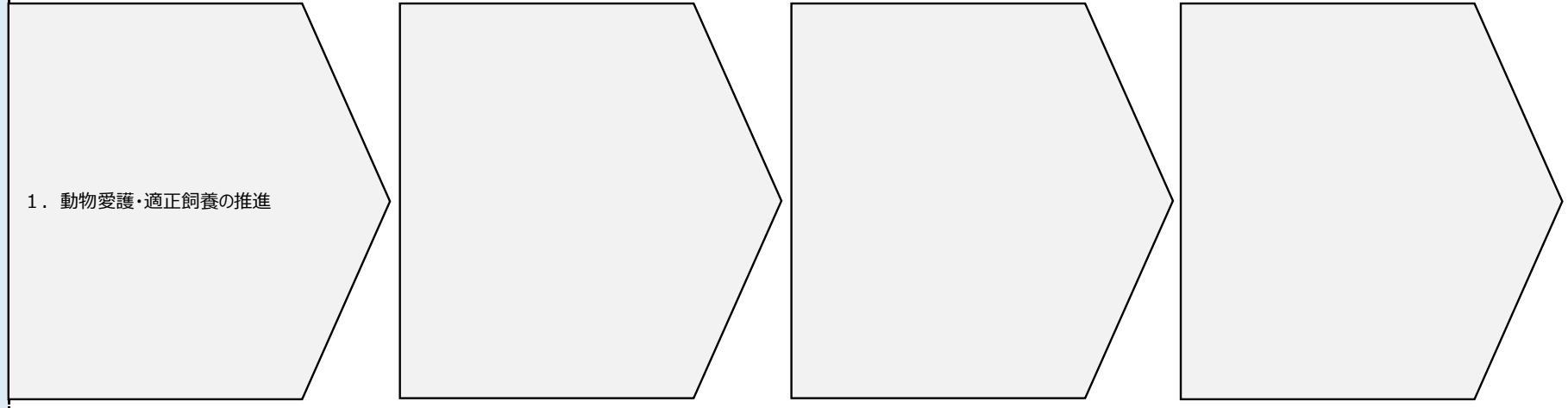
取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新興感染症への対策をはじめとする地域保健体制の構築や災害医療体制の整備、医療連携の強化	災害医療対策会議連携訓練を実施	継続	継続	継続	健康福祉政策課、保健医療課

施策シート[07_01]－ 施策指標

健康福祉部、保健所

施策名称	健康に関する危機管理体制の充実
------	-----------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
結核の罹患率	1年間に新たに結核と診断された人数／ 総人口（人口10万対）	10以下	10以下	10以下	10以下	人	保健予防課	1. 感染症への対策
1歳までにＢＣＧ接種を終了している者の割合	結核を予防するＢＣＧワクチンを1歳までに 接種した児の数／0歳の人口	95.0	95.0	95.0	95.0	%	保健予防課	-
収去検査における違反・不適件数	食品衛生及び生活衛生に関する立入・収 去検査において違反・不適であった件数	0	0	0	0	件	保健衛生課	-
対象者が定期A類予防接種を受ける	MR1期（麻しん・風しん含む）の接種率 【算出式：接種者数／対象者数】	95	95	95	95	%	保健予防課	-

施策名称		人と動物の共生					
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標等	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち					
めざす姿（主観的満足度）		心身ともに健康に暮らせる環境が整っている					
概要		人と動物の共生を推進するため、動物の愛護・適正飼養の推進を図る。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
							

施策シート【07_02】－ 具体的な取り組み

保健所

施策名称	人と動物の共生
------	---------

1. 動物愛護・適正飼養の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
殺処分ゼロを継続するための適正飼養の啓発・指導、捕獲・収容またはやむを得ず飼い主から引き取った犬・猫の譲渡の促進	犬猫の収容等と譲渡を行うとともに、イベントや講習会の開催による適正飼養啓発、飼い主への飼い方指導、猫不妊手術費補助金の交付により適正飼養を推進。	継続	継続	継続	保健衛生課

施策シート[07_02]－ 施策指標

保健所

施策名称	人と動物の共生
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
犬猫の譲渡・返還数割合	負傷(幼弱子猫含む)、飼い主からの引き取り、及び捕獲により収容等された犬猫のうち、譲渡・返還された割合。	75	75	75	75	%	保健衛生課	1. 動物愛護・適正飼養の推進

施策名称		医療体制の充実			
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	8.安心して適切な医療が受けられるまち			
めざす姿（主観的満足度）		安心して適切な医療が受けられる環境が整っている			
概要		誰もが安心して医療を受けられるよう、地域医療の充実を図ります。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 医療通訳士の登録派遣 2. 手話通訳者の派遣			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【08_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、福祉事務所

施策名称	医療体制の充実
------	---------

1. 医療通訳士の登録派遣

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。	医療通訳士（医療通訳ボランティア）を派遣	継続	継続	継続	健康福祉政策課

2. 手話通訳者の派遣

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
手話通訳が必要な市内の聴覚障害のある方に手話通訳者の派遣を行う事業	手話通訳者を派遣	継続	継続	継続	障害企画課

施策シート[08_01]ー 施策指標

健康福祉部、福祉事務所

施策名称	医療体制の充実
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域医療機関から市立病院への紹介件数	地域医療機関からの市立病院への患者の紹介件数	9,850	9,900	9,950	10,000	件	医事課	-
北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率	北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送し入院に至った患者数／後送された患者数	80.0	80.0	80.0	80.0	%	健康福祉政策課	-
医療通訳士の利用件数	外国人住民等が市内対象医療機関を受診する際の医療通訳士の利用件数	500	500	500	500	件	健康福祉政策課	1. 医療通訳士の登録派遣
医療機関への手話通訳者の派遣件数	聴覚に障害のある方が医療機関を利用する際の手話通訳者の派遣件数	1,317	1,412	1,507	1,602	人	障害企画課	2. 手話通訳者の派遣
コンソーシアム連携事業への参加者数（再掲）	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数（会議を除く研修会・講習会への参加者数）	12,000	12,000	12,000	12,000	人	健康福祉政策課	-

施策シート【09_01】

健康福祉部、市民生活部、環境部

施策名称		高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり			
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
めざす姿（主観的満足度）		高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている			
概要		認知症予防の推進や相談体制の充実、住み慣れた地域で医療・介護が受けられる体制づくりを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	1. ごみ出し支援の拡充 2. 認知症対策 （1）認知症サポーターの養成 （2）予防及び早期発見 （3）患者及び家族の負担軽減 （4）認知症対策（脳の健康度測定） （5）認知症対策（加齢性難聴に対する支援） 3. 在宅福祉サービスの充実			
	R7年度	3. 在宅福祉サービスの充実 ○新たな緊急通報装置導入			
	R8年度				
	R9年度	2. 認知症対策 （3）患者及び家族の負担軽減 【拡充】 ○一体的支援事業を行う団体に 対する補助を実施（6団体）			

施策シート【09_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、市民生活部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり
------	----------------------

1. ごみ出し支援の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ごみ出し支援である「ふれあいサポート収集」及び「大型ごみ持出しサポート収集」の利用要件を令和5年度に拡充したが、より市民ニーズに対応していくため、さらなる拡充を図る。 令和5年度の拡充内容 「ふれあいサポート収集」：対象要件を高齢者、障害者の単身世帯としていたが、単身世帯の要件を撤廃。（高齢者、障害者等で複数人世帯を対象に拡充。） 「大型ごみ持出しサポート収集」：対象とする世帯の構成を、高齢者、障害者に加えて、既存対象者と同一世帯に属する18歳未満の者を追加するとともに、大型ごみと同時に排出する場合に限り粗ごみも収集品目の対象に追加。	大型ごみ持出しサポート収集の利用要件拡充の検討（出産や骨折等の傷病を理由とした一時的なごみ排出困難者への対応検討）	大型ごみ持ち出しサポート収集の利用要件の拡充（一時的なごみ排出困難者を対象とした収集を実施）	継続	継続	環境事業課

2. (1) 認知症対策（認知症サポーターの養成）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
認知症を正しく理解し見守るサポーターを養成。	認知症サポーター養成講座を開催	継続	継続	継続	健康福祉政策課

施策シート【09_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、市民生活部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり
------	----------------------

2. (2) 認知症対策（予防及び早期発見）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・専門職が地域の取り組みの活動支援を行い、認知症を含めたフレイル予防を展開（ポピュレーションアプローチ）。本市独自のプログラムを使用した教室等を実施（ハイリスクアプローチ）。 ・認知症の早期発見・早期治療の契機として、「自分のできる認知症の気づきチェックリスト」を活用。 ・認知症の人とその家族への適切な支援につなげるため、発症初期の段階で医療と介護の専門職によるチームが介入。	・「ひらかた脳活教室」等による切れ目のないつながりをもった取り組みを実施 ・検討した「自分のできる認知症の気づきチェックリスト」の啓発活動の実施 ・作成した初期集中支援チームの啓発資料による啓発を実施	・「自分のできる認知症の気づきチェックリスト」啓発の継続実施 ・初期集中支援チームの啓発資料の効果を見ながら啓発の継続実施	継続	継続	健康づくり課、健康福祉政策課

2. (3) 認知症対策（患者及び家族の負担軽減）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
本人と家族の関わり方を一体的に支援する団体に対して、運営に必要な費用の一部を補助。認知症の本人やその家族にとって安心して店舗やサービスを利用できる環境を推進。	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（3団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（4団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（5団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	・一体的支援事業を行う団体に対する補助を実施（6団体） ・「認知症バリアフリー宣言」の推進	健康福祉政策課

2. (4) 認知症対策（脳の健康度測定）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
デジタル技術を活用した脳の健康度測定を実施し、自身の脳の健康に関心をもつきっかけづくりするとともに、認知機能低下が疑われる方を把握し、介護予防事業への案内や地域・医療資源等へつなぐことにより、認知症及び軽度の認知機能障害の予防、早期対応を推進。	・二次元コードの郵送による個別測定の実施 ・集団測定の実施 ・結果分析	継続	継続	継続	健康福祉政策課、健康づくり課

施策シート【09_01】－ 具体的な取り組み

健康福祉部、市民生活部、環境部

施策名称	高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり
------	----------------------

２．（５）認知症対策（加齢性難聴に対する支援）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
高齢者の認知症予防や日常生活の質の向上を図るため、加齢に伴う難聴について、補聴器の購入を補助。	・補助金要綱確定 ・10月から購入費補助の実施	購入費補助の継続実施	継続	継続	健康福祉 総合相談 課

３．在宅福祉サービスの充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひとり暮らし等で身体に負担のある高齢者の居宅に緊急通報装置を設置し、急病などに対する緊急時の対応や、日常時の健康相談に応じ、不安感の解消を図っている。 現在の装置は固定電話回線に接続しているが、固定電話回線の廃止やＩＰ電話等で装置が設置できない高齢者への対策を検討する。	緊急通報装置の在り方について検討	新たな緊急通報装置導入	実施	実施	健康福祉 総合相談 課

施策シート【09_01】－ 施策指標

健康福祉部、市民生活部、環境部

施策名称		高齢者が地域で安心して暮らせる環境づくり						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
介護保険給付に占める在宅サービスの割合	居宅サービス及び地域密着型サービス給付費合計／介護保険給付費	73.0	73.5	73.7	73.7	%	保険年金課	-
介護保険施設等の施設数	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の数	102	102	108	108	施設	健康福祉政策課	-
認知症サポーター養成講座の参加者数（累計）	認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を学ぶ認知症サポーター養成講座の参加者数（累計）	29,200	30,400	31,600	32,800	人	健康福祉政策課	2.（1）認知症対策（認知症サポーターの養成）
「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	100	100	100	125	人	健康づくり課	2.（2）認知症対策（予防及び早期発見）
「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の利用件数（累計）	「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」啓発の結果、チェックリストが行われた数	1,500	3,000	4,500	6,000	件	健康福祉政策課	2.（2）認知症対策（予防及び早期発見）
一体的支援事業補助事業申請団体数	認知症一体的支援事業に取り組む団体に対して行う補助金事業の利用件数	3	4	5	6	件	健康福祉政策課	2.（3）認知症対策（患者及び家族の負担軽減）
認知症理解に関して働きかけた店舗等（企業等）数	「認知症バリアフリー宣言」など認知症理解に関する周知を行った件数	3	100	200	400	件	健康福祉政策課	2.（3）認知症対策（患者及び家族の負担軽減）
脳の健康度測定受診者数	①セルフチェック（対象者の15%から＋1%/年） ②集団測定（定員の100%）	①2,025人 ②500人	①2,160人 ②500人	①2,295人 ②500人	①2,430人 ②500人	件	健康福祉政策課	2.（4）認知症対策（脳の健康度測定）
補聴器購入費補助件数	補聴器購入費を補助した件数	30	70	70	70	件	健康福祉総合相談課	2.（5）認知症対策（加齢性難聴に対する支援）
地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	地域ケア推進実務者連絡協議会、作業部会の開催件数	14	14	14	14	件	健康づくり課	-

施策名称		介護予防の推進						
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち						
	施策目標等	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち						
めざす姿（主観的満足度）		高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている						
概要		高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進する。						
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度		
	1. 高齢者居場所の支援 2. 介護予防及び外出支援の推進 3. ひらかたポイントアプリの機能拡充 ○ひらかたポイントアプリに歩数計測機能を追加するなど、アプリの機能拡充		2. 介護予防及び外出支援の推進 ○タクシークーポン交換手続きの拡充				2. 介護予防及び外出支援の推進 ○ひらかたポイント利用場所の拡充	

施策シート【09_02】－ 具体的な取り組み

健康福祉部

施策名称	介護予防の推進
------	---------

1. 高齢者居場所の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
高齢者が自由に集い、交流することを通じて閉じこもり等を防ぎ、介護予防の促進を図るために、高齢者居場所などの集いの場の運営団体を支援。	・新たな介護予防拠点として実施する「街かど健康ステーション」を設置 ・高齢者居場所や街かどデイハウス等の通いの場の運営団体の支援方法を評価し、引き続き介護予防を推進	日常生活圏域に1か所設置（市内9か所から13か所に増設）	継続	継続	健康づくり課

2. 介護予防及び外出支援の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域での介護予防や健康づくり事業に参加した市民に「ひらかたポイント」を付与。高齢者の外出機会の創出。	・タクシークーポン交換手続き方法の拡充検討・運用 ・ひらかたポイント利用場所の拡充検討	継続	継続	継続	健康福祉政策課

3. ひらかたポイントアプリの機能拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
アプリに歩数計測機能を搭載するなど、市民が楽しみながら運動できる仕組みを構築。獲得したポイントの利便性を向上させることで市民の健康増進活動を促進。	・ひらかたポイントアプリに歩数計測機能を追加するなど、アプリの機能拡充 ・利便性の向上 ・利用者の拡充を推進 ・キャッシュレス決済ポイントへの交換を導入 ・カードからアプリへの移行推進	・アプリの機能拡充・利便性の向上 ・利用者の拡充を推進 ・カードからアプリへの移行推進	継続	継続	健康福祉政策課

施策シート[09_02]ー 施策指標

健康福祉部

施策名称	介護予防の推進
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
高齢者居場所など集いの場の参加率	活動実績を求める高齢者居場所と健康ステーション（街かどデイハウス事業）（仮）の延べ参加者数／高齢者人口	8.0	8.0	8.0	8.0	%	健康づくり課	1. 高齢者居場所の支援
市がサポートする自主グループの数	活動を把握し、継続をサポートするひらかた元気くらわんか体操実施グループ等の自主グループの数	510	550	590	630	グループ	健康づくり課	1. 高齢者居場所の支援
ひらかたポイントの利用・交換件数	65歳以上のひらかたポイント利用・交換件数	17,000	19,000	21,000	23,000	件	健康福祉政策課	2. 介護予防及び外出支援の推進
ひらかたポイント利用者登録数	ひらかたポイント制度の利用者登録数（カード・アプリを含む）	75,000	80,000	85,000	90,000	人	健康福祉政策課	3. ひらかたポイントアプリの機能拡充
ひらかたポイントアプリ利用者登録数	ひらポアプリの利用者登録数	28,000	33,000	38,000	43,000	人	健康福祉政策課	3. ひらかたポイントアプリの機能拡充
健康行動取組者数	健診、ウォーキングなどの健康増進に係る主な付与事業参加者へのポイント付与延べ人数	60,000	65,000	70,000	75,000	人	健康福祉政策課	3. ひらかたポイントアプリの機能拡充

施策名称		高齢者の社会参加の促進			
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
めざす姿（主観的満足度）		高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている			
概要		高齢者の技能・経験を活かせる活躍の場の確保など社会参加を促進する。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 自主グループの活動支援 2. 社会参加の支援				
	R7年度				
	1. 自主グループの活動支援 ○自主グループの登録制度の創設				
	R8年度				
R9年度					

施策シート【09_03】－ 具体的な取り組み

健康福祉部

施策名称	高齢者の社会参加の促進
------	-------------

1. 自主グループの活動支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
健康無関心層をターゲットとして、趣味的の高いプログラムで「社会参加」のきっかけを提供。自主グループや支援組織と連携し、活動継続ができる仕組みを構築。	自主グループの登録・活動支援体制の構築に向けた検討（モデル実施）	自主グループの登録制度の創設により、継続的な活動を支援	継続	継続	健康づくり課

2. 社会参加の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた生き生きマイレージについて、新任研修を開催するとともに、研修修了後のボランティア活動を希望するサポーター登録者について、活動の場とのマッチングを行い、活動を支援。また、すでに活動している者への現任研修を開催しながらモチベーションの維持に努める。	・新任研修を開催 ・研修修了後のボランティア活動を希望するサポーター登録者について、活動の場とのマッチング及び活動の支援	継続	継続	継続	健康づくり課

施策シート[09_03]－ 施策指標

健康福祉部

施策名称	高齢者の社会参加の促進
------	-------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
高齢者居場所など集いの場の参加率【再掲】	活動実績を求める高齢者居場所と健康ステーション（街かどデイハウス事業）（仮）の延べ参加者／高齢者人口	8.0	8.0	8.0	8.0	%	健康づくり課	1. 自主グループの活動支援
ひらかた生き生きマイレージ（介護予防ポイント事業）による活動件数	ひらかた生き生きマイレージ事業において65歳以上の高齢者が介護保険施設等でサポーター活動を行う件数	1,000	2,000	3,000	4,200	件	健康づくり課	2. 社会参加の支援

施策名称		社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実			
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち			
めざす姿（主観的満足度）		障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている			
概要		障害者の社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	1. グループホームにおける重度障害者受入促進				
	2. くすの木園の跡地活用				
	3. 地域生活支援のための体制整備				
	4. 意思疎通支援の拡充				
5. 障害者歯科診療日数の拡充		3. 地域生活支援のための体制整備			
6. 補聴器購入補助の拡充		○体験の機会・場についての整備及び拠点コーディネーターの設置			
○22歳到達年度末までの軽度難聴者（児）に対して補聴器等の扶助を実施					

施策シート【10_01】－ 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実
------	----------------------

1. グループホームにおける重度障害者受入促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
グループホームにおける重度障害者の受入を促進するため、重度障害者の受け入れを評価する補助金の交付。また事業所の人手不足解消のため、世話人養成研修、無料職業紹介所事業などを実施。	・グループホーム重度障害者対応改修補助金の見直し ・世話人養成研修 ・無料職業紹介所事業を実施	・見直し後の補助金の交付 ・世話人養成研修 ・無料職業紹介所事業を実施	継続	継続	障害企画課

2. くすの木園の跡地活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
重度障害者グループホーム（地域生活支援拠点併設）の設置	敷地の土壌調査等を実施	運営法人の決定に向けた取り組み	事業所開設に向けた調整・建設工事	運用開始	障害企画課

3. 地域生活支援のための体制整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、障害者等の生活を地域全体で支える提供体制を構築するため、市が中心となって地域の実情に応じて必要な機能を整備。中心的な役割を担うコーディネーター（以下、「拠点コーディネーター」という）の配置。	・緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場についての整備 ・整備済の機能について、継続的に検証・検討	・体験の機会・場についての整備及び拠点コーディネーターの設置 ・整備済の機能について、継続的に検証・検討	・拠点コーディネーターの設置 ・整備済の機能について、継続的に検証・検討	整備済の機能について、継続的に検証・検討	障害企画課

4. 意思疎通支援の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
コミュニケーションに困難を有する障害者が、入院する際に、現に利用している事業所の従事者をコミュニケーション支援員として派遣。	対象者要件を緩和	継続	継続	継続	障害企画課

施策シート【10_01】－ 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実
------	----------------------

5. 障害者歯科診療日数の拡充【拡充】

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
一般の歯科医療機関で診療が困難な障害者対象に枚方市歯科医師会が行っている歯科診療事業に対して、補助額を増額し診療日数を増やす。	同事業で一定治療後の受診者を引継ぎ(紹介) できる歯科医療機関の増加を図る	継続	継続	継続	障害企画課

6. 補聴器購入補助の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
身体障害者手帳の交付対象とならない軽度難聴児に対する補聴器購入補助について、対象者を現在の18歳未満から22歳到達年度末まで拡充。	22歳到達年度末までの軽度難聴者（児）に対して補聴器等の扶助を実施	継続	継続	継続	障害企画課

施策シート[10_01]ー 施策指標

福祉事務所

施策名称		社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
施設入所者の地域生活への移行	障害福祉計画の目標として掲げる施設入所者の地域生活への移行者数	3	3	2	2	人	障害企画課	枚方市障害福祉計画（第7期）
移動支援利用時間	1年間の移動支援事業の利用者時間	221,423	243,566	267,922	294,714	時間	障害企画課	-
障害者のグループホーム利用者数	障害者が地域で共同生活するグループホームの実利用者数（一月あたり）	575	621	671	731	人	障害企画課	1. グループホームにおける重度障害者受入促進（枚方市障害福祉計画（第7期））
整備済の機能の数	整備済の機能の数	4	5	5	5	機能	障害企画課	3. 障害者の地域生活支援のための体制整備
コミュニケーション支援員派遣数	1年間のコミュニケーション支援員を派遣した対象者数	6	11	11	11	人	障害企画課	4. 意思疎通支援の拡充
障害者歯科診療件数	障害者歯科診療事業で1年間に受診した人数	1,008	1,008	1,008	1,008	人	障害企画課	5. 障害者歯科診療日数の拡充
引継ぎ（紹介）が可能な歯科医療機関	同事業で一定治療後の受診者を引継ぎ（紹介）できる歯科医療機関の増加を図る	7	9	11	13	か所	障害企画課	5. 障害者歯科診療日数の拡充
18歳以上で補聴器購入費用補助の利用を申請した人数	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中度難聴障害がある若者で補聴器等を申請した人数。	5	5	5	5	人	障害企画課	6. 補聴器購入補助の拡充

施策名称		障害への理解促進、地域との交流の場の提供					
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					
	施策目標等	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち					
めざす姿（主観的満足度）		障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている					
概要		障害者への理解促進や地域との交流の場の提供を図る。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	

施策シート【10_02】－ 具体的な取り組み

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供
------	----------------------

1. 日常生活及び社会生活支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会を提供。障害者の地域生活に必要な相談や情報提供の実施。	障害者の地域生活に必要な相談や情報提供を実施	継続	継続	継続	障害企画課

2. 遠隔手話通訳サービスの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
本庁4か所、出先4か所でタブレット端末による遠隔手話通訳を実施。また、1年中外出先等からすぐ利用できる遠隔手話通訳サービスを委託により実施。	遠隔手話通訳サービスの利用 勧奨を実施	継続	継続	継続	障害企画課

3. スポーツを通じた障害者の社会参加・交流促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
eスポーツやウィルチアススポーツの障害者社会参加促進事業スポーツ講習会の実施。	障害者がeスポーツやウィルチアススポーツ等に親しんでもらうための講習会を実施	継続	継続	継続	障害企画課

施策シート【10_02】－ 施策指標

福祉事務所

施策名称	障害への理解促進、地域との交流の場の提供
------	----------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域活動支援センター事業の利用者数	障害者の日中活動や地域との交流の場である地域活動支援センターの利用者数	37,474	38,024	38,574	39,124	人	障害企画課	1. 日常生活及び社会生活支援
遠隔手話通訳サービスの利用件数	遠隔手話通訳サービスの1年間の延べ利用件数	665	684	703	722	件	障害企画課	2. 遠隔手話通訳サービスの推進
スポーツ講習会の参加人数	スポーツ講習会の1年間の延べ参加者数	60	60	60	60	人	障害企画課	3. スポーツを通じた障害者の社会参加・交流促進

施策名称		人権教育・啓発の推進			
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち			
めざす姿（主観的満足度）		一人ひとりが人権を尊重し合っている			
概要		すべての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観を認め合えるよう、人権教育・啓発の推進を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 人権尊重の意識醸成 2. 性的マイノリティ支援			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【11_01】－ 具体的な取り組み

市長公室

施策名称	人権教育・啓発の推進
------	------------

1. 人権尊重の意識醸成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和5年度に見直しをおこなった「人権尊重のまちづくり条例」の理念に基いた、市民・企業向け啓発の実施。 また、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と連携した効果的な人権啓発の実施。	・条例理念の周知・啓発 ・市民対象の啓発イベント (講演会・映画会・講座等)を実施	条例理念に基づいた市民・企業向け啓発イベントを実施	・継続	・継続	人権政策課

2. 性的マイノリティ支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
性の多様性の理解促進の一環として、「LGBTQ+電話相談」、「コミュニティスペース」のほか、市民向け啓発事業の実施。	相談者の利便性の向上を図るため、現行のLGBTQ+電話相談を若年の相談者にも利用しやすいオンライン（チャット）相談に変更	継続	継続	継続	人権政策課

施策シート【11_01】－ 施策指標

市長公室

施策名称	人権教育・啓発の推進
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
啓発イベント等に参加した人の満足度	啓発イベント等に参加した人のアンケート結果で、満足した人の割合	90	90	90	90	%	人権政策課	1. 人権尊重の意識醸成
人権啓発イベント等の参加者数	人権に関する講座など人権啓発イベント等への参加者数	630	630	630	630	人	人権政策課	1. 人権尊重の意識醸成
LGBTQ＋相談（電話・オンライン（チャット））利用者数	LGBTQ＋相談（電話・オンライン（チャット））を利用した人の延べ人数	30	35	40	45	人	人権政策課	2. 性的マイノリティ支援

施策名称		人権侵害への支援の充実		
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等	11. すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち		
めざす姿（主観的満足度）		一人ひとりが人権を尊重し合っている		
概要		配偶者等からの暴力（DV）や、高齢者、障害者などへのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図る。		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度			

施策シート【11_02】－ 具体的な取り組み

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	人権侵害への支援の充実
------	-------------

1. DV防止対策と被害者支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」におけるDV相談及び、DV防止に向けた啓発事業等の実施。	・DV被害者の相談対応 ・各種証明発行 ・保護命令申立支援 ・一時保護移送 ・DV防止啓発イベント等の実施 ・小中学校へのDV予防教育プログラムを実施	継続	継続	継続	人権政策課

2. 障害者の虐待防止と相談支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害者虐待の通報・相談を受けて、被害者の保護や再発防止などの支援を実施。	・全ての通報等を対象にコア会議で対応方針を検討 ・支援の連携強化を目的に虐待防止関係機関会議を開催	継続	継続	継続	障害支援課

3. 高齢者の虐待防止と相談支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
高齢者に対する虐待発生の予防や早期発見、必要な支援につなぐため、市や地域包括支援センターで高齢者虐待に関する相談を実施。	高齢者虐待に関する相談に迅速に対応	継続	継続	継続	健康福祉総合相談課

施策シート【11_02】－ 施策指標

市長公室、健康福祉部、福祉事務所

施策名称		人権侵害への支援の充実						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
D V 被害に関する相談件数	配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」におけるDV被害に関する相談件数	1,800	1,850	1,900	1,950	件	人権政策課	1. DV防止対策と被害者支援
DVに関する各種証明発行件数	配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において、住民票の閲覧制限に係る証明など、各種証明を発行した件数	150	155	160	165	件	人権政策課	1. DV防止対策と被害者支援
障害者虐待に関する相談件数	「障害者虐待防止センター」における障害者虐待に関する相談件数	80	80	80	80	件	障害支援課	2. 障害者の虐待防止と相談支援
障害者虐待に関する相談の結果、解決・支援につながった割合	虐待認定の結果、解決、支援につながった割合	100	100	100	100	%	障害支援課	2. 障害者の虐待防止と相談支援
高齢者虐待に関する相談件数	高齢者虐待に関する市への相談件数	140	140	140	140	件	健康福祉総合相談課	3. 高齢者の虐待防止と相談支援
高齢者虐待に関する相談の結果、解決・支援につながった割合	市や地域包括支援センターが対応した高齢者虐待の相談に対して、適切な支援先につながられた割合	100	100	100	100	%	健康福祉総合相談課	3. 高齢者の虐待防止と相談支援

施策名称		多文化共生社会の形成の支援			
総合計画体系	基本目標等	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち			
めざす姿（主観的満足度）		一人ひとりが人権を尊重し合っている			
概要		多様な文化を認め合えるよう、人権教育・啓発を図るとともに、外国籍の市民等にとっても、住みやすいまちづくりを行う。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 多文化共生の推進 2. 標識等の多言語語化 3. 外国籍の市民等への支援の充実 4. 多文化共生教育の推進				
	R7年度				
	R8年度	2. 標識等の多言語語化 ○標識、案内板の多言語語化を段階的に具体化			
	R9年度				

施策シート【11_03】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援
------	---------------

1. 多文化共生の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・外国人市民等のニーズを踏まえた「国際化施策に関する考え方」の取り組みの具体化及び推進。 ・「国際化施策に関する考え方」における取り組みの進捗管理。	・現状把握 ・ニーズを踏まえた取り組みの具体化検討	外国人市民等のニーズを踏まえた「国際化施策に関する考え方」の取り組みの推進	継続	継続	観光交流課

2. 標識等の多言語化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
外国籍の市民等に向けた標識、案内板の多言語化を推進。	・観光関係の案内板等の多言語化の実施（枚方宿） ・市域全体の案内板における多言語化に着手する候補選定など対応策の検討	・観光関係の案内板等多言語化の実施（枚方八景など） ・市域全体の案内板における多言語化の具体化に向けて進め方を整理	市域全体の案内板における多言語化の実施	継続	観光交流課

3. 外国籍の市民等への支援の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①生活のうえで必要となるさまざまな情報を提供することを目的に、やさしい日本語を含む7か国語にて「外国人のための枚方生活ガイド」を発行。 ②生涯学習市民センターでは日常生活に困っている人を対象に日本語・多文化共生教室として「よみかき教室」を実施。	・現状把握 ・ニーズを踏まえた取り組みの具体化検討 ①継続 ②日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方を対象に、日本語学習の場を提供する。地域に住むすべての人が、豊かに生き生きと暮らすことができる社会の実現を目指す	継続	継続	継続	観光交流課、教育政策課、文化生涯学習課

施策シート【11_03】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援
------	---------------

4. 多文化共生教育の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
小中学校における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、異文化理解のための学習会や授業研究を実施。	異文化理解のための学習会や授業研究を実施	継続	継続	継続	児童生徒課

施策シート【11_03】－ 施策指標

観光にぎわい部、学校教育部

施策名称	多文化共生社会の形成の支援
------	---------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
国際化関連講座受講者数	市が主催する国際理解講座等、多文化共生、国際化推進のための講座・イベント参加者数	86	94	104	114	人	観光交流課	1. 多文化共生の推進
日本語・多文化共生教室「よみかき」の学習者の満足度	年度末に実施する学習者向けアンケートにおいて、「この教室で日本語を勉強してよかったですか」の項目で「よかった」と回答した学習者の割合	80	80	80	80	%	教育政策課、文化生涯学習課	3. 外国籍の市民等への支援の充実
国際理解教育に努めている学校数	学校教育計画に国際理解教育について掲載している学校数	63	63	63	63	校	児童生徒課	4. 多文化共生教育の推進

施策シート【12_01】

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称		女性活躍の推進	
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標等	12. 男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	
めざす姿（主観的満足度）		男女共同参画社会が実現している	
概要		女性の職業生活などにおける活躍の推進を図るとともに、男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	1. 市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進 2. 市役所女性職員の活躍推進 3. 女性のための相談支援 4. 男女共同参画の推進 5. 男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援		
	R7年度		
	R8年度	1. 市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進 ○ 2週間以上の育児休業を取得した男性職員の割合100%	
	R9年度		

施策シート【12_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進
------	---------

1. 市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
男性職員に対する育児に関する休暇・休業制度の全体的な周知。対象職員への育児参画の意義を含めた啓発を実施。	・幅広い年代へのアプローチとして研修時に育休の内容を盛り込む ・男性育休リーフレットのブラッシュアップ ・収入面の情報も含めた取得パターンの例示 ・課題解消につなげるための取得しない場合の理由聴取などの取り組みを推進	継続	継続	継続	職員課

2. 市役所女性職員の活躍推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
管理職に占める女性職員比率について、30%を目指し、女性職員のさらなる活躍の推進を図り、女性職員のキャリア形成を促進。 管理職の魅力ややりがいをアピールし、キャリアアップへの不安解消など、多くの女性職員が昇任意欲を持てるような取り組みを実施。	・キャリアデザイン研修の実施 ・女性管理職のロールモデルの提示等を行う	継続	継続	継続	人事課

3. 女性のための相談支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「男女共生フロア・ウィル」で女性・男性及びLGBTQなど、性別に係る困りごとに関する相談を実施。	・女性のための面接・電話・法律相談 ・男性のための電話相談 ・LGBTQ+相談（電話・オンライン（チャット））	継続	継続	継続	人権政策課

施策シート【12_01】－ 具体的な取り組み

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称	女性活躍の推進
------	---------

4. 男女共同参画の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民の男女共同参画意識の向上に向け、男女共同参画に関する啓発講座等を実施。 第3次枚方市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画を推進。	・市民を対象とした男女共同参画に関する講座やイベントを開催 ・本市の審議会の女性委員登用を促進	継続	継続	継続	人権政策課

5. 男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市内事業者の労働環境改善に向け、国・府と連携して啓発を実施。	・国制度の認定を受けた市内事業者を取材し、取組事例などをHPやSNSで発信して啓発 ・市内事業者を対象としたセミナー等を開催	継続	継続	継続	商工振興課

施策シート【12_01】－ 施策指標

市長公室、総務部、観光にぎわい部

施策名称		女性活躍の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
2 週間以上の育児休業を取得した男性職員の割合	当該年度中に新たに連続 2 週間以上の育児休業を取得した市役所男性職員数／当該年度中に子が出生した市役所男性職員数	60	85	100	100	%	職員課	1. 市役所男性職員の育児休暇の取得促進による女性が働きやすい環境の推進
管理職に占める女性の割合	市役所における女性管理職／全管理職	30	30	30	30	%	人事課	2. 市役所女性職員の活躍推進
支援に必要な相談機関につながった人の数	男女共生フロア・ウィルの窓口や相談事業において、相談をした人のうち、それぞれの必要とする支援を受けられる相談機関につながった人数	30	30	30	30	人	人権政策課	3. 女性のための相談支援
男女共同参画の理解が深まった人の割合	男女共生フロア・ウィルの講座やイベントに参加した人のうち、アンケートで男女共同参画の理解が深まったと回答した人数／アンケート回答者数	95	95	95	95	%	人権政策課	4. 男女共同参画の推進
男女共同参画に関する講座等の参加者数	男女共生フロア・ウィルで実施する講座等の参加者数	594	604	614	624	人	人権政策課	4. 男女共同参画の推進
審議会等への女性委員登用率	女性委員比率が35%を達成している審議会等／全審議会等	60	62	63	64	%	人権政策課	4. 男女共同参画の推進
周知啓発を行った市内事業者数	セミナー等を通して、直接周知啓発を行った市内事業者数	600	650	700	750	件	商工振興課	5. 男性の育児休暇の取得、女性が働きやすい市内企業の応援

施策名称		平和意識の向上			
総合計画体系	基本目標等	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	13. 平和の大切さを後世に伝えるまち			
めざす姿（主観的満足度）		平和の大切さが継承されている			
概要		平和な社会の実現に向けて、平和意識の向上を図り、戦争の悲惨さを後世に伝える取り組みを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 平和の意識醸成			
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【13_01】－ 具体的な取り組み

市長公室

施策名称	平和意識の向上
------	---------

1. 平和の意識醸成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代の子どもたちに伝え、市民に平和について考える機会をより効果的に実施するため、次世代を担う青少年をターゲットとした内容や広報の見直しを実施。	企画（参画してくれる若者の募集、勉強会・意見交換・とりまとめ）	事業実施	既存事業に継承	継続	人権政策課

施策シート【13_01】－ 施策指標

市長公室

施策名称	平和意識の向上
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
平和啓発事業に参加した人の満足度	平和啓発事業の参加者へのアンケート調査で、満足した人の割合。	85	85	85	85	%	人権政策課	1. 平和の意識醸成
平和に関するイベントの参加者数	3月1日の「枚方市平和の日」などに開催する平和に関するイベントの参加者数	2,500	2,500	2,500	2,500	人	人権政策課	1. 平和の意識醸成